

令和4年度の取組み報告

内容（施策）	No.	具体的取り組み	主体となる機関(◎)協力して取り組む機関(○)						
			市	県	気象台	国	JR	WILLER	全但バス
タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。	1	・ 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、試行運用によるタイムライン試行版の検証（未策定機関は、策定）	○72	○	○73	◎74	○75	○76	○77
	2	① 洪水予報文の改善 ② 河川管理者による積極的な助言			◎78	◎			
地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。	3	② 適時適格な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した情報伝達・啓発活動の継続実施	◎80	◎81	◎82	◎83			
	4	④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	○84	○	○85	◎	○86	○87	○88
地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。	4	・ 全ての地域住民が避難できるような地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進	◎89	◎90	○91	○			
浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。	5	・ 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知	◎92	○					
地域毎の個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。	6	・ 各地域、箇所における災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施	◎93	○					
幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。	7	・ 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続	◎94	○	○95	◎96			
啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。	8	・ 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映	○97	○		◎98			
	9	① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画	○99	○	○100	◎101			
		② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示	◎102	◎103	○104	○			
		③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実	◎105	○	○106	○107			
		④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進	◎108	○		○			
⑤ 兵庫県住宅再建共済（フェニックス共済）の加入促進	○109	◎110							
水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数量の見直しを行う。	10	・ 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施	○111	◎112~113		◎114			
実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。	11	・ 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく訓練と継続的な実施	◎115	◎		◎116			
地域コミュニティの活動を支援する。	12	・ 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有	◎117	◎118		◎119			
重要水防箇所の共通認識を促進する。	13	・ 重要水防箇所の定期的な見直しと、共通認識の促進	○120	○		◎121			
災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。	14	・ 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための制度・枠組み等の創設	◎122	○		○			
建設業協会との連携・協働体制を強化する。	15	・ 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等	◎123	◎124		◎125			
洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。	16	① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案	○126	○		◎			
		② 水防対応の手引きの作成・周知	○127	○		◎			
各機関、事業者における水害時BCP（事業継続計画）を作成する。	17	・ 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように水害時避難確保計画・BCP（事業継続計画）の策定を推進	◎128	◎129		◎130	○131	○132	○133
洪水を安全に流すためのハード対策を実施する。	18	・ 河川整備計画に基づいた河川改修の実施				◎134			
豊岡市内での計画規模以上の洪水氾濫を想定した排水計画を策定し、内水対策を実施する。	19	・ 具体的な排水計画の立案				◎			
排水施設の耐水化を実施する。	20	・ 洪水氾濫時の耐水性の確認と耐水化対策の検討	◎	○		◎			
既存施設の有効活用。	21	・ 浸水被害低減に向けた既存ダムの洪水調節機能の活用及び検証		◎135		◎136			

具体的取組	NO.1 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、 試行運用によるタイムライン試行版の検証(未策定機関は、策定)	豊岡市
-------	---	-----

内容(施策)	タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。	
--------	--	--

目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、気、国、交
------	---------	------	-----------

取組概要

- 想定最大規模を想定したタイムラインの見直し
- 災害時における避難情報の伝達に差異が生じないように、避難情報を発令する一定の条件の検証

取組内容および結果

関係機関で構成する「流域タイムライン検討会」で想定最大規模の洪水を想定したタイムラインの見直しを行っている。

出水期前に避難情報の発令の基準の確認し、各地域災害対策本部と情報共有を図った。

避難情報の発令の基準

国直轄管理区間の避難情報発令基準

(1) 緊急安全確保…基準は堤防天端
 【円山川】水位計受持区間中、最も低い堤防天端の換算水位、ポンプ停止水位に設定
 【出石川】堤防天端高に達する恐れが高い場合
 【奈佐川】国の基準より前倒し、「氾濫危険水位」に設定

(2) 避難指示…基準は氾濫危険水位
 【円山川・出石川】国の基準通り「氾濫危険水位」に設定
 【奈佐川】国の基準より前倒し、「避難判断水位」に設定

(3) 高齢者等避難…基準は避難判断水位
 【円山川・出石川・奈佐川】
 国の基準より前倒し、「氾濫注意水位」に設定

兵庫県管理河川

(1) 緊急安全確保
 水位計受持区間中、最も低い堤防天端の換算水位

(2) 避難指示
 避難指示水位からリードタイムを60分として設定
 (氾濫危険水位)

(3) 高齢者等避難
 避難勧告水位からリードタイムを30分として設定
 (避難判断水位)

具体的取組	NO.3-② 適時適格な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した情報伝達・啓発活動の継続実施	豊岡市
--------------	---	------------

内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。
---------------	--

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国
-------------	----------------	-------------	----------------

取組概要

○「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行う。

取組内容および結果

2022年5月 更新した防災マップを全戸配布

- ①防災マップを見て、「自宅避難可能か」「自宅外への避難が必要か」を各家庭で記入し、区長・町内会長が避難行動を確認できる様式を隣保回覧し、各区での避難行動の事前把握に努めた。
- ②風水害を想定した8月の市民総参加訓練でも、防災マップで確認した被害想定に対応する避難行動を行うように市広報や防災行政無線で啓発。
- ③防災マップで「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行った。

WEB版防災マップを公開し、市広報が届かない世帯や、市外居住者でも防災マップが確認できる環境を提供。

各人、各家庭の避難のタイミング、避難先をあらかじめ決めておく「マイ避難カード」について、出前講座等で普及推進に努めた。

具体的取組

NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証

豊岡市

内容(施策)

地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。

目標時期

R2から適宜

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。
- 特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。

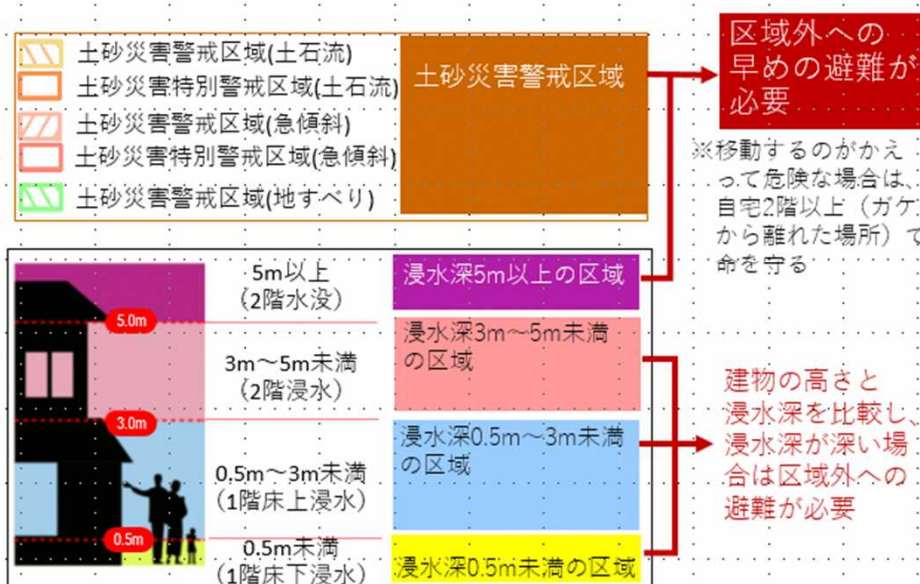
取組内容および結果

出水期前の春季市政懇談会(5月開催)で、市長が区長へ直接語り掛ける。

1. 防災マップの活用について

- (1) 5年ぶりに更新した防災マップを5月24日の区長便で、全世帯分をお届けします。
- (2) 防災マップでわかること
 - ① 100年に一度の雨で堤防が決壊したときの浸水区域
 - ② 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域
 - ③ 避難場所
- (3) 防災マップ裏面の啓発記事の記載事項
 - ① 避難情報の発令により市民がとるべき行動
 - ② 防災マップに掲載されている災害想定
 - ③ 避難の考え方(マップの着色を確認してどんな避難が必要か確認できる)
 - ④ 避難行動の確認(どのタイミングで、どこに避難すべきかを記入できる)

防災マップの着色の示す災害リスクととるべき行動



市長が直接訴えかけることで、区長の関心、理解も格段に高くなっている。

具体的取組	NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	豊岡市
--------------	---	-----

内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。	
---------------	--	--

目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、気、国、交
-------------	--------	-------------	-----------

取組概要

○過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。
 ○特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。

取組内容および結果

市HPに各種情報、リンク先を添付することで、多様な情報収集ができるようにしている。

<div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">災害・気象情報</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 田山川河川情報(市内の雨量・水位等) (外部リンク) □ ▶ 兵庫県の気象情報(警報・土砂災害警戒情報等) (外部リンク) □ ▶ 気象庁(豊岡市の気象状況) (外部リンク) □ ▶ 視覚障害者向け気象情報(日本気象協会) (外部リンク) □ 	<div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">ライフライン情報</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ NTT西日本 (外部リンク) □ ▶ 関西電力 (外部リンク) □ ▶ 豊岡エネルギー (外部リンク) □
<div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">交通情報</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 兵庫県道路情報(国県道の規制・積雪等) (外部リンク) □ ▶ 兵庫県道路公社(播但連絡道路・遠阪トンネル) (外部リンク) □ ▶ NEXCO西日本 (外部リンク) □ ▶ 日本道路交通情報センター (外部リンク) □ <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▶ JR西日本 (外部リンク) □ ▶ 京都丹後鉄道 (外部リンク) □ <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全但バス (外部リンク) □ <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ▶ コウノトリ但馬空港 (外部リンク) □ 	<div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">災害用伝言サービス</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害伝言ダイヤル(171) (外部リンク) □ ▶ 災害用伝言板(web171) (外部リンク) □
<div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">その他関連リンク</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中央省庁など ▶ 共済・ボランティア制度 	

具体的取組	NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証			豊岡市
-------	---	--	--	-----

内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。			
--------	--	--	--	--

目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、気、国、交	
------	--------	------	-----------	--

取組概要


○過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。
 ○特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。

取組内容および結果

外出先でも災害情報が確認できるよう、SNSによる災害情報の提供開始。


豊岡市代表SNS

▶ 豊岡市広報公式Twitter

 行政・イベント情報、緊急・災害情報、新型コロナ情報、まちの話題など、豊岡市の旬な情報をタイムリーに発信します。

▶ [豊岡市広報公式Twitter \(外部リンク\)](#) □

▶ 豊岡市公式LINE

 市民の皆さんに特にお知らせしたい行政情報や災害情報などを配信します。また、画面下に表示されているメニュー画面から市ホームページやごみの出し方、コロナ関連情報などに簡単にアクセスできます。

▶ [豊岡市公式LINE \(外部リンク\)](#) □

2022年9月1日運用開始

具体的取組

NO.4 全ての地域住民が避難できるように地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進

豊岡市

内容(施策)

地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。
- 引き続き「マイ防災マップ」や「マイ避難カード」の作成を普及を図る。

取組内容および結果

出前講座では「いつ」「どこへ」を意識した避難行動が行えるよう、各人、各家庭の避難のタイミング、避難先をあらかじめ決めておく「マイ避難カード」の普及を行った。

マイ避難カードの記入項目

洪水リスク (浸水深や浸水継続時間)

土砂災害リスク

誰の避難？
どんな人の避難？

避難のタイミング

安全な場所

避難の手段・ルート

家族で？
どこ近所と？

必要な物資 (最低1~2日分)

マイ避難カード		土砂災害警戒区域内	
最善(ベスト)	次善(セカンドベスト)	三善(サードベスト)	
いつ	台風接近の前日まで	警戒レベル3 高齢者等避難の発令	警戒レベル4 避難指示の発令
どこに	親類・知人宅() ホテル()	指定緊急避難場所()	近所避難 ※自宅の安全な() 宅
どのように	迎えに来てもらう (誰に:)	徒歩()分 「自家用車」()分	徒歩()分
誰と	近所の()さんと	家族()人で	家族()人で
何を	食料品 缶詰・レトルト() カロリーメイト() チョコレート() 乾燥菓実()	飲み物 水(500ml) (本) お茶(500ml) (本) ジュース(500ml) (本)	生活用品 懐中電灯・防寒着・着替え タオル・シート・雨具 携帯電話充電器・毛布 常備薬・お薬手帳

最後の手段 万が一逃げ遅れた場合は、建物の2階以上の、山とは反対側の部屋で安全確保を図ってください。

マイ避難カードの「どこに」の考え方

避難先の選択肢

たとえば

- 安全が確保できる親類・友人宅
- 3階建て以上ご近所避難
- 指定緊急避難場所

避難先へ安全に移動ができる条件から避難の具体を考える

神戸の娘の家に避難 と考えたなら、「台風が来る2日前には避難」が必要

コミュニティセンターに避難 と考えたなら、「明るいうちに」「道路が冠水する前に」など、近場でも油断は禁物

道路が冠水し、日が暮れて外も暗く、安全な行動が難しいなら、覚悟を決めて自宅の2階

具体的取組	NO.5 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知			豊岡市
内容(施策)	浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。			
目標時期	R2からR3まで	取組機関	市、県	
取組概要				
○ハザードマップの更新 ○出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。				
取組内容および結果				
<p>2022年5月に防災マップを更新(2016年以来)し、市民に配布。</p> <p>○2022年1月にWEB版防災マップの公開。 行政区毎の防災マップに加え、想定最大規模降雨(千年に一度の大雨)による災害想定や高潮、津波浸水想定区域も掲載。 地図の拡大・縮小、住所検索、災害想定を表示・非表示や距離の計測などが可能。</p> <p>○2022年5月に市民へ印刷物による防災マップを配布。 行政区別に概ね1/5000以下の縮尺の航空写真の上に、計画規模降雨(1/100)を示したもの。 防災マップ裏面には、マップに着色されたエリアでの避難の考え方や、避難情報が発令された際の住民がとるべき行動を記載。</p>				

具体的取組	NO.5 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する 区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知			豊岡市
内容(施策)	浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。			
目標時期	R2からR3まで	取組機関	市、県	
取組概要				
○ハザードマップの更新 ○出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。				
取組内容および結果				
<p>2022年5月に防災マップを更新(2016年以来)し、市民に配布。</p> <p>○出前講座や防災ワークショップ等で、防災マップの活用方法の徹底や、平時に市民一人ひとりが「逃げ時」や「逃げ先」を定めておく「マイ避難カード」の作成促進について取り組んだ。</p>				
<p>○8月28日(日)に開催した市民総参加訓練では、防災マップを確認したうえで、適切な避難行動を行えるよう啓発を行った。</p> <p>【啓発内容】自宅避難でよいのか、自宅以外への避難が必要か。 自宅以外の避難場所はどこか。どのような状態になれば避難を行うのか。 訓練までにあらかじめ決めておき、訓練日には避難を実践していただく。</p>				

具体的取組	NO.6 各地域、箇所における災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施			豊岡市
--------------	---	--	--	------------

内容(施策)	地域毎での個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。			
---------------	--	--	--	--

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
-------------	----------------	-------------	------------	--

取組概要

- 避難行動要援護者に対する個別支援計画作成までのフロー図を区長等に配布(市HPへも掲載)し、引き続き作成を促す。
- 市民総参加訓練(市民一斉避難訓練)実施に向けた取り組みの柱の一つとして明示し、啓発する。
 ※災害時要援護者の支援者のボランティア保険料を豊岡市が負担する取り組みを平成29年度に創設。
- ケアプラン等の作成時に災害時に必要な情報も盛り込んだ内容となるよう、事業者等へ要請する

取組内容および結果

避難行動要援護者対策

市では、避難行動要援護者が「いつ」、「誰が」、「誰を」、「どこに」避難させるかを定めた個別支援計画の策定を各区にお願いしている。
 また、個別支援計画の加入促進のため、支援いただく方には市が掛け金を負担して、ボランティア保険に加入。2022年11月末日時点での策定率は、40.2%(74区/184区)。

福祉専門職との連携

区・自主防災組織が災害時要援護者の個別支援計画作成にあたり、どんな配慮が必要なのか福祉専門職にアドバイスが必要となった際に、市が福祉専門職とコンタクトを取り、福祉専門職から配慮事項などの助言が得られることで、より実効性の高い個別支援計画が作成できるような仕組みづくりを構築について検討する。

訓練での検証

市民総参加訓練の実施にあたり、各区に対し、避難行動要援護者個別支援計画に基づく避難誘導を要請した。

具体的取組	NO.7 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続	豊岡市
-------	---	-----

内容(施策)	幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。
--------	--

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国
------	---------	------	---------

取組概要

○台風23号メモリアル防災授業を市内全ての公立幼稚園・小中学校で実施する。
 防災授業では、国土交通省作成(市編集協力、写真資料集提供)の学年別教材を活用しての実施について引き続き啓発する

取組内容および結果

- ・ 令和元年度までは、小学校の学齢(低・中・高学年)のレベルに応じたテーマを設定し、水害の防災教育教材を作成。
- ・ 今年度(令和2年度)では、中学校を対象とした水害の防災教育教材を作成した。
- ・ 上記に加え、コロナ禍での避難を考えることをテーマにした教材を、小・中学校版で作成した。
- ・ 市内小中学校に対し、台風23号メモリアル授業(10月実施)に合わせて提供した。

洪水に関わる
防災授業資料

学習指導案

(小学校低学年・中学年・高学年)

対象	タイトル
小学校低学年:テーマ①	雨の“恵み”と“災い”
小学校低学年:テーマ②	自分の命は自分で守る
小学校中学年:テーマ①	水害とその対策
小学校中学年:テーマ②	自然との共生
小学校高学年:テーマ①	水害に どのように対応するか ～避難方法を知る～
小学校高学年:テーマ②	わたしたちができること ～助けられる側から助ける側へ～

【中学校版】学習のテーマ

学習のテーマ	ねらい
テーマ① “学ぶ力”を身に付ける	避難できない人間の心理を理解する
テーマ② “考える力”を身に付ける	水害時の具体的な避難行動を考える
テーマ③ “貢献する力”を身に付ける	水害犠牲者を出さないために、中学生の自分たちにできることを考える

“コロナ禍避難”の学習のテーマ

学習のテーマ	ねらい
“分散避難”の考え方を知る	新型コロナウイルスが蔓延するなかでの避難を考える

内容(施策)

啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。

目標時期

R2から継続

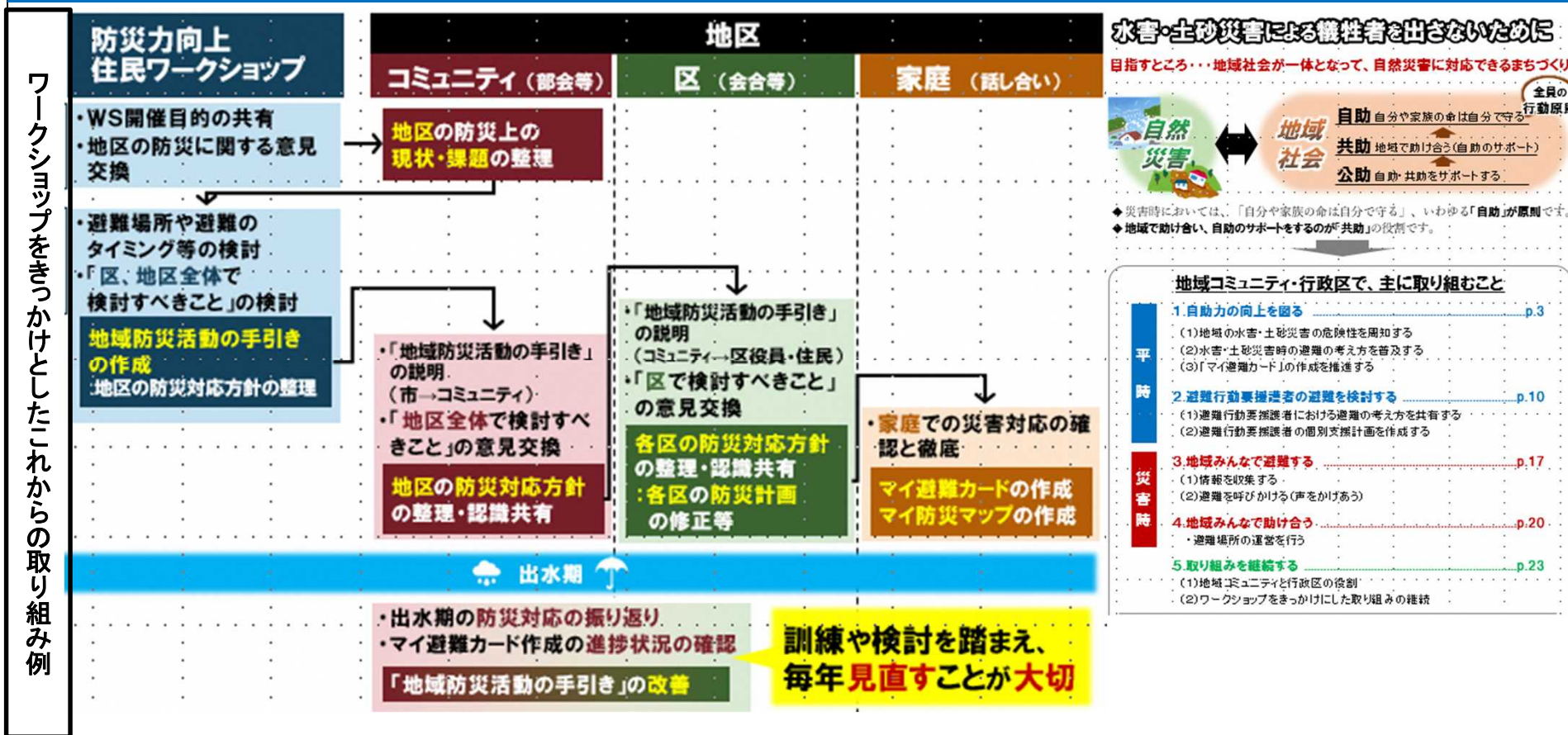
取組機関

市、県、国、交

取組概要

○地域コミュニティを対象とした出前講座を積極的に行う。

取組内容および結果



具体的取組	NO.9-① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H30から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○女性、子育て世代に情報提供できる機会を検討する。				

取組内容および結果

地域での出前講座には、女性の参加を促すよう、主催者に要請した。

防災ワークショップでは、各区から3人の出席を依頼した際に、1人は必ず女性を、また若い年代の方にも参加いただくよう、各区に人選をお願いした。

県立日高高校で出前講座の実施(10/12・12/21)



具体的取組	NO.9-② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○防災マップの提供				
取組内容および結果				
防災マップを更新。2022年5月、計画規模降雨の防災マップを配布。				
WEB版防災マップを新規作成。2022年1月公開。 https://arcg.is/n844m				
L2規模水害に対応していない避難場所の周知を引き続き行う。 L 2 不適避難場所の対応策 <ol style="list-style-type: none"> (1) L 2 での想定浸水にも対応する避難場所への早期誘導 (2) L 2 不適の避難場所であることの住民周知 (3)救命胴衣等の配備 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> L2規模水害に対応していない避難場所(7か所) 但馬技術大学校2階体育館、納屋区会館、五荘地区コミュニティセンター、JAたじま農業センター、竹野南地区コミュニティセンター、国府地区コミュニティセンター、福住地区コミュニティセンター L2規模災害の襲来に備え、あらかじめ避難場所を決めておくことを啓発している。 </div>				

具体的取組

NO.9-③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実

豊岡市

内容(施策)

啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国

取組概要

○地域コミュニティでの防災ワークショップを引き続き実施する。

取組内容および結果

防災ワークショップを継続して実施。
今年度は、港地区と合橋地区で実施。
地域コミュニティから区へ、区から区民へ、
防災に関する情報が浸透するよう
内容と進め方を検討して進める。

地域での防災学習を支援するため、地域の
指導役の方を対象とした、住民学習素材
を「地域防災活動の手引き」として作成。



2022年12月20日の神戸新聞の記事

具体的取組	NO.9-④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○「マイ避難カード」普及・啓発				
取組内容および結果				
自らの避難行動を平時に考えておく、マイ避難カードの普及・啓発を出前講座で行う。				
防災ワークショップや出前講座で「マイ避難カードの作成」を体験してもらい、多くの区民がマイ避難カードを作成する機会を設定する。				
<p> 防災ワークショップを実施した地区には、「マイ避難カード」を全戸配布する。コミュニティや区役員がマイ避難カードの記入について区民に説明し、区民がマイ避難カードを作成する。作成状況については、後年度に調査を行い、必要なフォローアップも実施する。 </p> <ul style="list-style-type: none"> →中筋地区では、全戸でマイ避難カードを作成。マイ避難カードの裏面に「非常持ち出し品リスト」を掲載。記入された「マイ避難カード」は、ラミネート加工のうえ、ひもを付け、自宅のよく見える場所に掛けている。 →八条地区では、避難先を1つに絞った「ファミリー避難カード」として記入を促し、市民総参加訓練時に記入したカードを持ち寄り、内容を確認した。 				

具体的取組	NO.9-⑤ 兵庫県住宅再建共済(フェニックス共済)の加入促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
取組概要				
○フェニックス共済の加入促進について、兵庫県と連携して取り組む				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p>防災ワークショップや出前講座で、フェニックス共済の普及啓発に努めた。</p> </div>				

具体的取組	NO.10 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施			豊岡市
内容(施策)	水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数量の見直しを行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○資機材の点検、計画的な配備に努める				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>備蓄資機材の点検 →土のう袋や土のう用の土を計画的に購入。</p> <p>損傷の激しい水防倉庫の修繕を検討 →2022年度、移築1か所、大規模修繕1か所実施。</p> </div>

具体的取組	NO.11 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく 訓練と継続的な実施	豊岡市
--------------	---	------------

内容(施策)	実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。
---------------	----------------------------

目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国、交
-------------	---------	-------------	----------------

取組概要

○出水期を踏まえ、豊岡消防団と、国・県・市の行政職員が一体となって水防訓練を実施する。
土のう作成や土のう積み訓練等を通じて、水災害の最前線で行われる消防団による水防活動の一端に触れることにより、水防技術と水防意識・知識の向上を図るとともに、積み土のうを実施するうえでの連携しての対応について確認する。

取組内容および結果

「台風23号メモリアル水防訓練」の開催

日時 2022年6月12日(日)実施
場所 六方河川防災ステーション
参加 豊岡消防団35人、国交省職員14人、
 兵庫県但馬県民局職員10人、豊岡市新任等職員64人
 3年ぶりの開催となり、指導者である豊岡消防団の指導力を確認する機会としたため、市民の訓練参加は行わなかった。

訓練の効果

水防活動の知識を身に着けることができている。
 訓練により、有事の際の連携もとりやすくなっている。

具体的取組	NO.12 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有	豊岡市
--------------	--	------------

内容(施策)	地域コミュニティの活動を支援する。
---------------	-------------------

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国
-------------	---------	-------------	--------------

取組概要

○地域防災力向上のために、防災に関する「ワークショップ」を地域コミュニティを単位として実施する。

取組内容および結果

引き続き、地域コミュニティでの「防災ワークショップ」に取り組む

防災ワークショップで目指すもの

- ① 地域の災害リスクを確認する。
- ↓
- ② 地域の問題点を知る。(避難場所、避難のタイミング、要援護者の支援方法、住民の防災意識など)
- ↓
- ③ 住民、区、コミュニティなどの役割を知る。(意識啓発、物資の備蓄、訓練、避難所運営等)
- ↓
- ④ ①、②、③を踏まえ、それぞれの組織で検討すべきことを整理し、具体的な対応について検討し、実現に向け取り組む。

地域コミュニティで取り組んでいる防災活動の支援を行う。
 活動内容を市HPに掲載し、コミュニティ間での情報共有やレベルの底上げにつなげる。

「ひょうご防災リーダー講座」の参加促進(特に女性の参加を促進する)

具体的取組	NO.13 重要水防箇所での定期的な見直しと、共通認識の促進			豊岡市
内容(施策)	重要水防箇所の共通認識を促進する。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○国土交通省、消防団と重要水防箇所の点検・確認を行う。				

取組内容および結果
<p>重要水防箇所を含む共同点検に参加。</p> <p>堤防等の不具合箇所に関する情報を消防団から受けられるよう、消防団事務局に依頼した。</p>

具体的取組	NO.14 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための 制度・枠組み等の創設			豊岡市
内容(施策)	災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。			
目標時期	H30から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○受援計画を策定し、その検証を行う。				

取組内容および結果
<p>受援計画の受け入れ窓口担当者の年度更新の実施。</p>
<p>5月実施の職員訓練等の機会に、受援計画の見直しの実施。</p>
<p>災害時ボランティアセンター開設訓練の実施(9月16日(金))。 豊岡市社会福祉協議会と一般社団法人豊岡青年会議所、豊岡商工会議所青年部、豊岡市商工会青年部との「災害時における相互協力に関する協定」に基づき、災害時に市が設置し、社会福祉協議会が運営を行う「市災害ボランティアセンター」の開設運営に関する訓練(合同研修会)を実施。 5団体から73人が参加。 災害ボランティアセンターの活動の流れを体験し、役割、業務内容の理解が図られた。</p>

具体的取組	NO.15 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等			豊岡市
内容(施策)	建設業協会との連携・協働体制を強化する。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○建設業協会や各種協定締結団体との連携を強化する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>出水期前に協定の内容や連絡先を双方で確認した。</p> </div>

具体的取組	NO.16-① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能 増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px;"> <p> 本庁舎、城崎庁舎が浸水想定区域内にあることを確認。 浸水時に想定されるリスクを検討する。 </p> </div>

具体的取組	NO.16-② 水防対応の手引きの作成・周知			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px;"> <p> 防災マップにより、庁舎や避難施設の災害リスクを確認。 浸水想定区域内の本庁舎、城崎庁舎での業務継続に必要な措置を検討する。 </p> </div>

具体的取組	NO.17 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように 水害時避難確保計画・BCP(事業継続計画)の策定を推進			豊岡市
-------	--	--	--	-----

内容(施策)	各機関、事業者における水害時BCP(事業継続計画)を作成する。			
--------	---------------------------------	--	--	--

目標時期	H28から適宜	取組機関	市、県、国、交	
------	---------	------	---------	--

取組概要

- 要配慮者利用施設である特別養護老人ホーム等で進んでいる避難確保計画作成を踏まえ、避難訓練の実施を促す
- 要配慮者利用施設である保育所・幼稚園等で進んでいる避難確保計画作成を推進し、避難訓練の実施を促す

取組内容および結果

避難確保計画の策定状況

策定が求められる施設 161施設
うち避難確保計画策定済み施設 161施設
策定率100%達成

避難確保計画に沿った訓練実施施設数

訓練実施施設 128施設 訓練実施率 79.5%(前年は62.1%)
 ・訓練未実施施設には、12月に電話で訓練実施を依頼。
 引き続き、訓練実施を促す。
 ・図上訓練等、施設管理者の負担が少ない訓練の事例などを紹介している。

令和5年度の取組み予定

内容（施策）	No.	具体的取組み	取り組み機関（●）						
			市	県	気象台	国	JR	WILLER	全但バス
タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。	1	・ 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、試行運用によるタイムライン試行版の検証（未策定機関は、策定）	●	●	●	●	●	●	●
	2	① 洪水予報文の改善 ② 河川管理者による積極的な助言		●	●	●			
地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。	3	② 適時適切な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した情報伝達・啓発活動の継続実施	●	●	●	●			
	4	④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証	●		●		●	●	
地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。	4	・ 全ての地域住民が避難できるような地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進	●	●	●	●	●	●	
浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。	5	・ 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知	●	●					
地域毎の個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。	6	・ 各地域、箇所における災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施	●	●					
幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。	7	・ 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続	●	●	●	●			
啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。	8	・ 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映	●		●	●			
	9	① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画	●	●	●	●			
		② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示	●	●	●	●			
		③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実	●	●	●	●			
		④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進	●	●		●			
⑤ 兵庫県住宅再建共済（フェニックス共済）の加入促進	●	●							
水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数値の見直しを行う。	10	・ 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施	●	●		●			
実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。	11	・ 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく訓練と継続的な実施	●	●		●			
地域コミュニティの活動を支援する。	12	・ 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有	●	●		●			
重要水防箇所の共通認識を促進する。	13	・ 重要水防箇所の定期的な見直しと、共通認識の促進	●	●		●			
災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。	14	・ 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための制度・枠組み等の創設	●	●		●			
建設業協会との連携・協働体制を強化する。	15	・ 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等	●	●		●			
洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。	16	① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案	●	●		●			
		② 水防対応の手引きの作成・周知	●	●		●			
各機関、事業者における水害時BCP（事業継続計画）を作成する。	17	・ 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように水害時避難確保計画・BCP（事業継続計画）の策定を推進	●	●		●	●	●	
洪水を安全に流すためのハード対策を実施する。	18	・ 河川整備計画に基づいた河川改修の実施				●			
豊岡市内での計画規模以上の洪水氾濫を想定した排水計画を策定し、内水対策を実施する。	19	・ 具体的な排水計画の立案				●			
排水施設の耐水化を実施する。	20	・ 洪水氾濫時の耐水性の確認と耐水化対策の検討	●	●		●			
既存施設の有効活用。	21	・ 浸水被害低減に向けた既存ダムの洪水調節機能の活用及び検証		●		●			

具体的取組	NO.1 想定最大規模までの洪水氾濫と土砂災害を想定した訓練、 試行運用によるタイムライン試行版の検証(未策定機関は、策定)			豊岡市
内容(施策)	タイムラインを作成し、タイムラインに基づき想定最大規模までの洪水氾濫を想定した情報伝達体制、方法について検証を行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、気、国、交	
取組概要				
<ul style="list-style-type: none"> ○想定最大規模を想定したタイムラインの見直し ○災害時における避難情報の伝達に差異が生じないよう、避難情報を発令する一定の条件の検証 				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>R4に見直しを行ったタイムラインを参考に、関係機関との訓練等に参加、内容の検証する。</p> </div> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>避難情報の発令の基準の確認</p> </div>				

具体的取組	NO.3-② 適時適格な避難のため、あらゆる情報提供ツールを活用した 情報伝達・啓発活動の継続実施			豊岡市
内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行う。				

取組内容および結果
<div data-bbox="212 742 1915 949" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>防災マップをもとに、「地域の災害リスク」を理解したうえで、「正しい避難行動」を身につけていただくため、区や地域コミュニティ等を対象とした出前講座で継続した啓発を行う。</p> </div> <div data-bbox="212 1029 1915 1181" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>各人、各家庭の避難のタイミング、避難先をあらかじめ決めておくためのツールとして、「マイ避難カード」の普及に努める</p> </div>

具体的取組	NO.3-④ 複数河川の氾濫を想定した計画規模以上の洪水に対する避難の判断基準やリードタイムを検討するとともに、地域性や被害特性を勘案した具体的な災害対応策を検証			豊岡市
内容(施策)	地域性や被災特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良を行う。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、気、国、交	
取組概要				
○過去の災害対応の教訓から、避難行動等について理解促進を図るため、市長自ら全区長(町内会長)に対し、直接訴える。 ○特に知っておいていただきたい内容について、市のホームページに特設コーナーを設け、引き続き啓発する。				
取組内容および結果				
<div data-bbox="219 676 1973 762" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>出水期前の春季市政懇談会において、市長が区長へ直接語り掛ける。</p> </div> <div data-bbox="219 836 1973 986" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>市HPに各種情報、リンク先を添付することで、多様な情報収集ができるようにする。</p> </div> <div data-bbox="219 1075 1973 1161" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>外出先でも災害情報が確認できるよう、SNSによる災害情報の提供を行う。</p> </div>				

具体的取組

NO.4 全ての地域住民が避難できるよう地元組織で実施する避難経路や危険箇所の確認、避難訓練、災害時要援護者の支援などに取り組む減災防災運動を推進

内容(施策)

地域の浸水危険度を情報提供し、住民一人ひとりが「自らの生命は自ら守る」ということを基本に、平時から地域、家庭、職場等で防災への積極的な取り組みを行うよう促すなど、自主防災思想の普及、徹底を図る。

目標時期

H28から継続

取組機関

市、県、気、国、交

取組概要

- 出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。
- 引き続き「マイ防災マップ」や「マイ避難カード」の作成を普及を図る。

取組内容および結果

出前講座では「いつ」「どこへ」を意識した避難行動が行えるよう、情報提供を行う。

各人、各家庭の避難のタイミング、避難先をあらかじめ決めておくためのツールとして、「マイ避難カード」の普及に努める。

具体的取組	NO.5 浸水想定区域図の情報に基づき早期避難を要する 区域・危険箇所等、災害危険度を明示した防災マップの周知			豊岡市
内容(施策)	浸水想定区域図を元にハザードマップを作成し、地域毎での避難経路等の選定の促進を図る。			
目標時期	R2からR3まで	取組機関	市、県	
取組概要				
○ハザードマップの更新 ○出前講座を行い、避難行動要援護者の個別支援計画作成や避難路選定等の進め方を啓発する。				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>○出前講座や防災ワークショップ等で、防災マップの活用方法の徹底や、 平時に市民一人ひとりが「逃げ時」や「逃げ先」を定めておく「マイ避難カード」の 作成促進について取り組む。</p> </div>				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>○個別支援計画の作成が進まない区に対して、計画の作成支援を行う。</p> </div>				

具体的取組	NO.6 各地域、箇所における災害危険度に基づく避難行動に関する要援護者個別支援計画の策定及び訓練の実施	豊岡市
-------	--	-----

内容(施策)	地域毎での個別支援計画の策定や防災訓練の中で要援護者を対象とした訓練を盛り込む。
--------	--

目標時期	H28から継続	取組機関	市、県
------	---------	------	-----

取組概要

- 避難行動要援護者に対する個別支援計画作成までのフロー図を区長等に配布(市HPへも掲載)し、引き続き作成を促す。
- 市民総参加訓練(市民一斉避難訓練)実施に向けた取り組みの柱の一つとして明示し、啓発する。
※災害時要援護者の支援者のボランティア保険料を豊岡市が負担する取り組みを平成29年度に創設。
- ケアプラン等の作成時に災害時に必要な情報も盛り込んだ内容となるよう、事業者等へ要請する

取組内容および結果

区に対し、引き続き、避難行動要援護者個別支援計画に基づく避難行動の支援を要請する。

区が避難行動を支援する避難行動要援護者の数を減らすため、多様な避難についての啓発を進める。

- ・離れて暮らしていても子どもや親族による避難支援
- ・普段利用している介護サービスの利用による避難
- ・災害リスクの高い区域に居住する避難行動要援護者に対して、「ホテル避難」に係る費用の助成

具体的取組	NO.7 学校園におけるメモリアル防災授業や防災出前講座の実施による防災教育の継続			豊岡市
内容(施策)	幼稚園、小学校、中学校における水災害教育として、洪水被害の歴史や身を守るための手段、地域や行政の対応策について学ぶ。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○台風23号メモリアル防災授業を市内全ての公立幼稚園・小中学校で実施する。 防災授業では、国土交通省作成(市編集協力、写真資料集提供)の学年別教材を活用しての実施について引き続き啓発する				
取組内容および結果				
<div data-bbox="219 699 1982 850" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>学齢に応じた防災教育資料を配布し、豊岡市の災害特性を理解できる防災授業を実施する。</p> </div> <div data-bbox="219 943 1982 1031" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>避難行動を自ら判断し、行動できるようメモリアル防災授業を実施する。</p> </div>				

具体的取組	NO.8 啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水氾濫時の被害想定やその対応策の内容を反映			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	R2から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○地域コミュニティを対象とした出前講座を積極的に行う。				

取組内容および結果
<div data-bbox="212 694 1982 981" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>引き続き、地域コミュニティを対象とした出前講座を積極的に行う。</p> <p>これまでに、出前講座の要請のない地域コミュニティには、防災課から出前講座の開催を促す。</p> </div> <div data-bbox="212 1109 1982 1197" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>地域の指導役の方を対象とした、住民学習素材の提供に向け、検討を行う。</p> </div>

具体的取組	NO.9-① 若年層の世代に特化した啓発活動の場の企画			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H30から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○女性、子育て世代に情報提供できる機会を検討する。				

取組内容および結果
<p>事業所や、PTAなど子育て世代への出前講座の実施。</p> <p>地域での出前講座には、女性の参加を促すよう、主催者に要請する。</p> <p>SNSによる災害情報、避難情報の発信を行う。</p>

具体的取組	NO.9-② 水害の恐れのある地域に居住することの危険性を認識できるよう、水害リスクをわかりやすく開示			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○防災マップの提供				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>事業完了(2022年5月全戸配布済み)</p> </div>

具体的取組	NO.9-③ 教育機関、ラジオ等のメディア、地域コミュニティを活用した広報の充実			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、気、国	
取組概要				
○地域コミュニティでの防災ワークショップを引き続き実施する。				

取組内容および結果
<div data-bbox="212 699 2042 912" style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>防災ワークショップを継続して実施する。 地域コミュニティから区へ、区から区民へ、防災に関する情報が浸透するよう内容と進め方を検討して進める。</p> </div> <div data-bbox="212 997 2042 1145" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>地域での防災学習を支援するため、地域の指導役の方を対象とした、住民学習素材の提供に向け、検討を行う。</p> </div>

具体的取組	NO.9-④ 「地区防災計画」や「災害・避難カード」の作成促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○「マイ避難カード」普及・啓発				
取組内容および結果				
<p>自らの避難行動を平時に考えておく、マイ避難カードの普及・啓発を出前講座で行う。</p>				
<p>防災ワークショップや出前講座で「マイ避難カードの作成」を体験してもらい、多くの区民がマイ避難カードを作成する機会を設定する。</p>				
<p>防災ワークショップを実施した地区には、「マイ避難カード」を全戸配布する。コミュニティや区役員がマイ避難カードの記入について区民に説明し、区民がマイ避難カードを作成する。作成状況については、後年度に調査を行い、必要なフォローアップも実施する。</p>				

具体的取組	NO.9-⑤ 兵庫県住宅再建共済(フェニックス共済)の加入促進			豊岡市
内容(施策)	啓発活動や広報資料に、計画規模以上の洪水に関する内容を盛り込むとともに、減災活動の取り組みに幅広い年齢層の参加を促す。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県	
取組概要				
○フェニックス共済の加入促進について、兵庫県と連携して取り組む				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>市広報や出前講座で、フェニックス共済の普及啓発に努める。</p> </div>

具体的取組	NO.10 災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため、必要な資機材の配備や防災ステーションの機能検証及び改善方策の立案・実施			豊岡市
内容(施策)	水防拠点を整備し、災害時の円滑かつ迅速な対応を行うため資機材やその数量の見直しを行う。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○資機材の点検、計画的な配備に努める				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>水害対策用物資の備蓄を計画的に行う。</p> </div>

具体的取組	NO.11 迅速な災害対応の実施に向けたPDCAサイクルに基づく 訓練と継続的な実施	豊岡市
-------	---	-----

内容(施策)	実働水防訓練の継続的な実施とその内容の見直しを行う。		
--------	----------------------------	--	--

目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国、交
------	---------	------	---------

取組概要

○出水期を踏まえ、豊岡消防団と、国・県・市の行政職員が一体となって水防訓練を実施する。
土のう作成や土のう積み訓練等を通じて、水災害の最前線で行われる消防団による水防活動の一端に触れることにより、水防技術と水防意識・知識の向上を図るとともに、積み土のうを実施するうえでの連携しての対応について確認する。

取組内容および結果

「台風23号メモリアル水防訓練」の開催

日時 2023年6月11日(日)に実施済。

場所 六方河川防災ステーション

参加 豊岡消防団 38人
 国交省 16人
 兵庫県但馬県民局 16人
 豊岡市 32人
 自主防災会 67人(市街地・八条地区)

具体的取組	NO.12 地域コミュニティでの防災や減災活動に関する支援や活動内容の情報共有			豊岡市
内容(施策)	地域コミュニティの活動を支援する。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○地域防災力向上のために、防災に関する「ワークショップ」を地域コミュニティを単位として実施する。				

取組内容および結果

引き続き、地域コミュニティでの「防災ワークショップ」に取り組む

防災ワークショップで目指すもの

- ① 地域の災害リスクを確認する。
↓
- ② 地域の問題点を知る。(避難場所、避難のタイミング、要援護者の支援方法、住民の防災意識など)
↓
- ③ 住民、区、コミュニティなどの役割を知る。(意識啓発、物資の備蓄、訓練、避難所運営等)
↓
- ④ ①、②、③を踏まえ、それぞれの組織で検討すべきことを整理し、具体的な対応について検討し、実現に向け取り組む。

地域コミュニティで取り組んでいる防災活動の支援を行う。
活動内容を市HPに掲載し、コミュニティ間での情報共有やレベルの底上げにつなげる。

具体的取組	NO.13 重要水防箇所の定期的な見直しと、共通認識の促進			豊岡市
内容(施策)	重要水防箇所の共通認識を促進する。			
目標時期	H28から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○国土交通省、消防団と重要水防箇所の点検・確認を行う。				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>6月5日実施の重要水防箇所の共同点検に参加。</p> </div>

具体的取組	NO.14 災害ボランティアの円滑な受け入れを促進するための 制度・枠組み等の創設			豊岡市
内容(施策)	災害ボランティアの円滑な受け入れを促進する。			
目標時期	H30から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○受援計画を策定し、その検証を行う。				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>策定済みの受援計画の各部の担当者を確認し、訓練を通じ検証を行う。</p> </div>

具体的取組	NO.15 建設業協会との応急復旧対策に関する事前調整等			豊岡市
内容(施策)	建設業協会との連携・協働体制を強化する。			
目標時期	H29から継続	取組機関	市、県、国	
取組概要				
○建設業協会や各種協定締結団体との連携を強化する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>出水期前に協定の内容や連絡先を双方で確認する機会を設ける。</p> </div>

具体的取組	NO.16-① 想定最大規模の洪水氾濫時を想定した防災施設・防災拠点の機能 増強及び重要資機材への影響確認、避難施設等の機能維持に関する施策の立案			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本庁舎、城崎庁舎が浸水想定区域内にあることを確認済み。</p> </div>

具体的取組	NO.16-② 水防対応の手引きの作成・周知			豊岡市
内容(施策)	洪水氾濫時の庁舎等の機能維持に備える。			
目標時期	R2から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
○洪水時に想定される庁舎の災害リスクを把握する				

取組内容および結果
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>浸水想定区域内の本庁舎、城崎庁舎での業務継続に必要な措置の検討を施設管理者に依頼する。</p> </div>

具体的取組	NO.17 災害時に迅速に減災、復旧活動が行えるように 水害時避難確保計画・BCP(事業継続計画)の策定を推進			豊岡市
内容(施策)	各機関、事業者における水害時BCP(事業継続計画)を作成する。			
目標時期	H28から適宜	取組機関	市、県、国、交	
取組概要				
<ul style="list-style-type: none"> ○要配慮者利用施設である特別養護老人ホーム等で進んでいる避難確保計画作成を踏まえ、避難訓練の実施を促す ○要配慮者利用施設である保育所・幼稚園等で進んでいる避難確保計画作成を推進し、避難訓練の実施を促す 				
取組内容および結果				
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>避難確保計画の検証のため、あらかじめ取り決めた避難先(指定緊急避難場所や上層階への避難)への避難訓練に取り組むよう要請する。</p> </div>				